

平成 24 年度岡山大学大学院社会文化科学研究科博士前期課程【9月募集】入学試験問題

講 座	経済理論・統計、比較経済、政策科学、 経営学、会計学、組織経済学、 地域公共政策コース
専門科目	経営学

以下の2つの問題の両方に解答しなさい。なお、問1は解答用紙の1枚目（1，2ページ）を、問2は解答用紙（3，4ページ）を用いて解答しなさい。

問1 1990年代以降、日本の企業において、成果主義的報酬制度を導入する企業が増えてきた。成果主義的報酬制度に関する以下の問いに答えなさい。

- (1) 事前に評価点の分布を決めず、何らかの客観的評価基準にもとづいて、優れているか、劣っているかで評価を決定する評価方式を絶対的評価と呼ぶが、絶対的評価にもとづいた報酬制度のメリットおよびデメリットについて説明しなさい。
- (2) 事前に評価点の分布を決め、被評価者の属する集団の中で他のメンバーと比較して序列を付け、その中での相対的な成果にもとづいて評価を決定する評価方式を相対的評価と呼ぶが、相対的評価にもとづいた報酬制度のメリットおよびデメリットについて説明しなさい。

問2 次の文章を読んで、下記の二つの問いに解答しなさい。

書店の「メディア化」で差別化 リヤカーブックス、品川に出没中
(出典：週刊ダイヤモンド2011年3月26日号、47ページ)

- (1) 当該ビジネスの仕組みを、「マーケティング・ミックス」の枠組みを使って、分析・説明しなさい。
- (2) あなたが当該ビジネスモデルのポイントであると考える点を、要領よく整理して述べなさい。